



男池

営業時間: 通年
入園料: 100円(清掃協力金)
駐車場: 185台、トイレ有

黒岳北麓の原生林の中に湧く湧水地で、環境省名水百選の1つ。水は青く透き通っている。湧水地へ下りて設置してあるひしゃくを利用して水を汲むことができる。園路では樹齢400年を超えるケヤキの巨木に出会える他、7月下旬〜8月中旬頃までは湧水地のまわりに咲くキツネノカミソリを楽しめる。

▶上: ケヤキの巨木
下: キツネノカミソリ



大分県由布市庄内町阿蘇野
097-585-1920

池山水源

営業時間: 通年
入園料: 無料
駐車場: 30台、トイレ有



熊本県阿蘇郡産山村田尻
0967-25-2211 (産山村企画振興課)

くじゅう連山の南西部に位置する湧水地で、環境省日本名水百選の1つ。湧水量は毎分30tと豊富で、一帯は樹齢200年以上の杉の巨木に囲まれている。園路では足水体験ができる他、水源の周りにもベンチが置いてあり、ゆっくり過ごすことができる。水くみ場は水源内ではなく駐車場の下に別に整備しており、ポリタンクなどで水を持ち帰ることができる。

▶上: 足水場
下: 水くみ場



納池公園

営業時間: 通年
入園料: 無料
駐車場: 15台、トイレ有



大分県竹田市久住町大字久住
0974-76-1115 (竹田市久住支所 産業建設課)



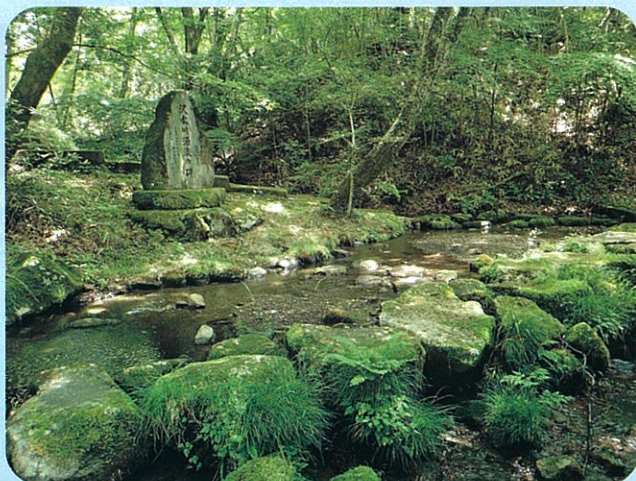
大船山の山麓に位置する湧水地。明治6年(1873)に京都嵐山などとともに太政官制公園に指定された由緒ある公園。園内の納池神社には水の神様が祭られている。公園の約3分の1が湧水地となっており、飛び石や木道などの散策路が整備されている。湧水からの流れは浅く、子ども連れで水遊びするのに最適。

沢水キャンプ場

営業時間: 8:00~19:00
(休業日あり、要問合せ)
入園料: 無料(要受付)
駐車場: 84台、トイレ有



大分県竹田市久住町大字久住
0974-76-1542



くじゅう連山の沢水登山口(標高850m)に位置する森と草原のキャンプ場。場内にはいくつもの小川が流れ、水遊びをすることができる。キャンプ場のまわりには大草原が広がっており、草原の植物も楽しめる。管理棟に散策に来た旨伝えれば、入園料は無料。(キャンプ利用時は入園料300円必要)。

湧水で水をくんだり、小川で遊ぶことができる

くじゅうの水辺



キャンプ用のイスを持参して好きところでのんびりとくつろぐ「チェアリング」もおススメ。(九重ふるさと自然学校「みれが池」にて)

1700m級の山々が連なり、九州の屋根と呼ばれるくじゅう連山は、年間降水量が3000mm以上にも達し、大分市などの平野部と比べて約2倍の降水がみられます。降った雨や雪は、くじゅう連山の豊かな森や草原がうけとめ、ゆっくりと地中に浸透した後、数ヶ月程度してから再び湧水として地表に現れ、小川となって源流地域を形成しています。今回は暑〜い夏におすすめの、湧水地や水遊びができる小川などのくじゅうの水辺スポットをご紹介します。

九重ふるさと自然学校

大分県玖珠郡九重町大字田野
0973-73-0001



営業時間: 9:30~17:00
(最終受付16:30)
休園日: 火曜日他(詳細HP参照)
入園料: 無料(要受付)
駐車場: 10台、トイレ有



◀田んぼ
ビオトープ
▼管理事務所

九重ふるさと自然学校(運営: (一財) セブン-イレブン記念財団) が管理するフィールド「さとぼる」。管理事務所の目の前には「みれが池」(遊泳不可)があり、池一周コース(360m)のほか、約2kmにわたる散策コースが存在する。園内の田んぼビオトープでは、生きもの観察や水遊びをすることができる。管理事務所では昆虫網とカゴの貸出(100円、原則キャッチ&リリース)のほか、田んぼや草原の生きもの図鑑を販売。子ども連れでのんびり半日程度楽しむことができる。入園には管理事務所での受付が必要。



▲生きもの図鑑



長者原ビジターセンター 0973-79-2154
久住高原観光案内所 0974-76-1610

よみかた 位置 問合せ先 GoogleMapリンク先

注意事項

今回紹介した水辺では、キャンプ場以外でのキャンプ行為・火気の使用は禁止されています。また湧水地は地元の方が利用している大切な水源でもあります。マナーを守って利用してください。